令和4年度下半期

水道事業会計業務状況説明書

（令和4年10月１日から令和5年３月31日まで）

Ⅰ　下半期財務諸表

Ⅱ　事業報告書

Ⅲ　令和5年度予算の概要

島　田　市　水　道　課

令和4年度　島田市水道事業会計　下半期業務報告書

【財務諸表】

1　予算執行状況　（千円）

	現計予算	上半期執行額	下半期執行額	翌年度繰越	執行残
水道事業収益	1,254,976	644,005	642,784		△ 31,813
水道事業費用	1,263,408	551,595	658,814		52,999
資本的収入	432,121	4,615	336,280		91,226
資本的支出	819,296	153,487	484,752	94,765	86,292

2　損益計算書（下半期）

10月１日から翌年3月31日の半期について、経営状況を把握する財務諸表です。
給水収益は前年比4百万円の減、歳出は前年比4百万円の減となりました。歳出が減となった主な要因は、電気料金の高騰に伴う動力費の増、償却資産の増加に伴う有形固定資産減価償却費の増を令和3年度に既存の配水池等を除却したことによる固定資産除却費の減が上回ったことが挙げられます。
下半期の経常損益は、前年より8百万円少ない2千万円の損失となりました。年間利益は、前年比2千5百万円減の4千4百万円となりました。

（千円）

	令和4年度下半期(A)	令和3年度下半期(B)	(A)－(B)	(参考)令和4年度上半期
営業収益	538,734	544,382	△ 5,648	548,640
うち給水収益	536,335	540,739	△ 4,404	547,065
営業外収益	49,224	55,751	△ 6,527	40,643
うち長期前受金戻入	32,712	40,448	△ 7,736	39,140
経常収益　計　①	587,958	600,133	△ 12,175	589,283
特別利益　②	0	0	0	0
営業費用	595,269	599,447	△ 4,178	511,494
うち減価償却費	193,587	182,187	11,400	192,403
営業外費用	13,078	13,163	△ 85	13,380
経常費用　計　③	608,347	612,610	△ 4,263	524,874
特別損失　④	0	0	0	0
経常損益　①-③=⑤	△ 20,389	△ 12,477	△ 7,912	64,409
特別損益　②-④=⑥	0	0	0	0
当期利益　⑤+⑥	△ 20,389	△ 12,477	△ 7,912	64,409
年間利益	44,020	68,835	△ 24,815	

3　貸借対照表

令和5年3月31日現在の財産を示す書類です。
資産は、年度末の預金額が減少したことに伴う流動資産の減により、前年比1億9百万円の減となっています。また、負債は、建設工事の未払金が減少したことに伴う流動負債の減により、2億3千6百万円の減となっています。資本金は施設整備の財源とした利益剰余金を資本金に組入れたこと等により増加しています。

（千円）

	令和4年度(A)	令和3年度(B)	(A)－(B)	備　考
資産	10,587,539	10,696,957	△ 109,418	
固定資産	9,060,725	9,046,136	14,589	
流動資産	1,526,814	1,650,821	△ 124,007	
負債	5,141,493	5,377,851	△ 236,358	
固定負債	2,971,579	3,012,932	△ 41,353	
流動負債	393,600	613,327	△ 219,727	
繰延収益	1,776,314	1,751,592	24,722	
資本	5,446,046	5,319,106	126,940	
資本金	4,748,529	4,585,609	162,920	
資本剰余金	133,701	133,701	0	
利益剰余金	563,816	599,796	△ 35,980	
負債＋資本　計	10,587,539	10,696,957	△ 109,418	

4　キャッシュフロー計算書（下半期）

10月1日から翌年3月31日の半期について、現金の増減事由を把握する財務諸表です。
財務キャッシュフローは起債の借入が3月のためプラスとなっていますが、前年度下半期より1億6千1百万円の資金減となっています。業務キャッシュフローは、前年度下半期より1千3百万円の資金減となっています。投資キャッシュフローは上半期よりマイナスが小さくなっています。令和4年度は2億4千1百万円の資金減となりました。これは、統合前簡易水道事業債の償還額や新病院建設関連事業に伴う工事費負担金等の収入が翌年度になったことも影響しています。

（千円）

	令和4年度下半期(A)	令和3年度下半期(B)	(A)－(B)	(参考)令和4年度上半期
業務活動ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ	148,388	161,543	△ 13,155	256,895
投資活動ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ	△ 117,257	△ 96,644	△ 20,613	△ 488,866
財務活動ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ	69,484	230,792	△ 161,308	△ 109,553
資金増減	100,615	295,691	△ 195,076	△ 341,524
期首資金残高	1,206,139	1,251,972	△ 45,833	1,547,663
期末資金残高	1,306,754	1,547,663	△ 240,909	1,206,139

【事業報告書】

1　工事

(1) 建設改良工事の概況

建設改良費は、前年比３億２千４百万円減の年間４億１千９百万円を執行しました。令和４年度は、配水管布設工事の実施により1,120mの管路を新設するとともに、送水管布設替工事及び配水管布設替工事を実施し、3,173mの管路を更新しました。

工事請負費（上位５件）

工　事　名	工　事　内　容	金額(税込、円)	備　考
中央公園道線送水管布設替工事	HPPE　φ150　L=660.9m外	48,939,000	㈱アーク東海
道悦旭町線配水管布設替工事	D(GX)φ200　L=165.1m HPPE　φ100　L=119.6m外	42,427,000	興和建設㈱
海道１号線ほか４路線送水管布設替工事	D(GX)φ100　L=199.6m、継手補強工 D(K)φ100　一式	35,508,000	浜建工業㈱
本通御仮屋線配水管布設替工事	HPPE　φ150　L=202.1m HPPE　φ　75　L=203.6m外	30,316,000	㈱アーク東海
（一）伊久美元島田線配水管布設替工事	HPPE　φ150　L=219.4m HPPE　φ　75　L= 24.0m外	28,809,000	大河原建設㈱

(2) 保存工事

漏水による管路の修理について、分水、止水、給水管の修理は、前年比13件の減となっています。修理件数が減少しているものの、有収率が低下していることから、表面化していない漏水の発生が見込まれます。

計量法に伴うメーター交換は前年度比44件の増となりました。

（単位　件）

区　　分	令和４年度		令和３年度		増　　減	
	下半期	全体	下半期	全体	下半期	全体
配水管修理工事	6	12	7	9	△１	3
分水、止水、給水管修理工事	66	145	62	158	4	△13
メーター取替工事	4,033	5,147	2,962	5,103	1,071	44

２　業務量

給水戸数は増加していますが、給水人口と有収水量は減少しています。有収率も前年度比0.2ポイント低下しており、今後も漏水修繕等の経営努力が求められています。

区　　分	令和４年度下半期	令和３年度下半期	増　　減
３月末給水人口（人）	77,268	77,666	△398
３月末給水戸数（戸）	34,088	33,826	262
下半期配水量（㎥）	5,896,373	5,944,783	△48,410
下半期有収水量（㎥）	4,329,269	4,374,749	△45,480
１日平均有収水量（㎥）	23,787	24,037	△250
有収率(%)	73.4%	73.6%	△0.2 ﾎﾟｲﾝﾄ
１件平均水道料金（税込、円）	5,795	5,887	△92
現年度収納率	97.69%	98.07%	△0.38 ﾎﾟｲﾝﾄ

３　その他重要事項

(1) 水道料金の改定

令和４年２月定例会において島田市水道事業給水条例の料金に関する改正案の議決が得られたことから、令和５年４月１日から水道料金を改定します。

令和４年度は広報紙の使送に併せた料金改定パンフレットの配布（令和４年７月）、検針時の折り込みチラシの配布（令和４年11月・12月）、広報紙への特集記事の掲載（令和５年３月）を行い、料金改定の周知に努めました。

【改定後の水道料金】（消費税込、１か月あたり）

１　基本料金

種別	メーターの口径	金額
普通給水 臨時給水 浴場営業用給水	13ミリメートル及び20ミリメートル	1,045円
	25ミリメートル	1,155円
	30ミリメートル	1,540円
	40ミリメートル	2,035円
	50ミリメートル	3,245円
	75ミリメートル	5,500円
	100ミリメートル	8,580円
	150ミリメートル	18,700円

２　従量料金

種別	金額（１立方メートルにつき）	
	10立方メートルまで	10立方メートルを超える分
普通給水 臨時給水	22円	143円
浴場営業用給水	22円	47.3円

令和５年度島田市水道事業会計予算の概要

１　業務の予定量

(1) 配水量

ア　年間配水量	11,392,116m^3
イ　１日平均配水量	31,126m^3

(2) 給水戸数　34,300戸

(3) 主要な建設改良事業

ア　建設改良事業

配水管布設工事	県道島田大井川線	延長　220m
配水管布設替工事	本通り御仮屋線ほか７路線等	延長1,794m
施設改修	川口浄水場ろ過機等改修事業等	

２　収益的収入及び支出

(1) 収入

第１款　水道事業収益	1,339,524千円
第１項　営業収益	1,251,497千円
第２項　営業外収益	88,026千円
第３項　特別利益	1千円

(2) 支出

第１款　水道事業費用	1,304,509千円
第１項　営業費用	1,252,119千円
第２項　営業外費用	49,389千円
第３項　特別損失	1千円
第４項　予備費	3,000千円

３　資本的収入及び支出

(1) 収入

第１款　資本的収入	407,118千円
第１項　企業債	300,000千円
第２項　出資金	80,127千円
第３項　固定資産売却代金	1千円
第４項　その他収入	26,990千円

(2) 支出

第１款　資本的支出	749,248千円
第１項　建設改良費	526,144千円
第２項　企業債償還金	223,104千円

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額342,130千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額46,677千円、過年度分損益勘定留保資金235,453千円、建設改良積立金60,000千円で補填する。

4　企業債

起債の目　的	限度額	起債の方法	利　率	償還の方法
上水道事業	千円 300,000	証書借入又は証券発行	公的資金 公的資金の貸付利率による。 その他 3.5%以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率による。	公的資金については、その融資条件により、その他の資金は、その債権者との協議による。 ただし、都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還し、又は低利債に借換えすることができる。

5　一時借入金

一時借入金の限度額　　100,000千円

6　予定支出の各項の経費の金額の流用

予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税の支出のため、他の経費を流用する場合

7　議会の議決を経なければ流用することのできない経費

次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費　　128,547千円

8　他会計からの補助金

事業運営のため、一般会計から補助を受ける金額　　2,754千円

9　たな卸資産購入限度額

たな卸資産の購入限度額　　30,000千円